

第14回 インテリア設計士の家具デザインコンペ'25

県インテリア設計士協会(近藤正一会長)は、第14回インテリア設計士の家具デザインコンペ2025の入選者を発表した。このコンペはインテリア・建築文化の発展と若い学生たちのインテリアへの関心を高めるために毎年実施しており、対象は九州各県の同協会会員と高校生、専門学校生、大学生。全ての応募作品を同一基準で審査している。

近藤会長は「九州内に限定することで、地域のインテリア・空間デザイン・建築文化の発展につながるかと考えている。来年度以降も継続し、各学校でのデザイン教育に役立て、積極的な取り組みを期待している」と話した。

最優秀賞

組棚

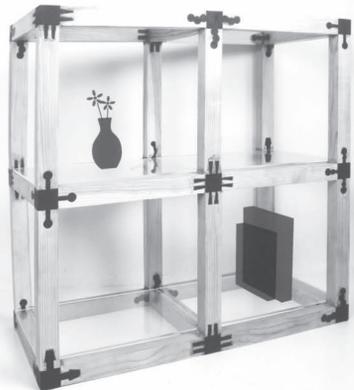
大分県立芸術文化短期大学
専攻科造形専攻
1年
佐原 愛音

講評

組棚

組手・仕口を継承する

日本の伝統的な組手・仕口を現代の暮らしの中で体感しながら受け継ぐための棚です。組手・仕口の構造を誰でも理解しやすいように再構成し、パーツをパズルのように楽しく組み立てながら体験できる仕組みにしました。視覚的、触覚的に魅力を感じられる棚になっています。



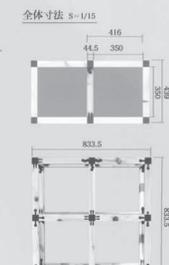
ストーリー



How to Use



どんな部屋でも合わせやすく、組み立てやすい棚にするための組手・仕口は伝統的なものを参考に新たにデザインしました



和風家具のかたちを形態に求めるのではなく、軸組という構法によって体感させる仕掛けが出色で、審査員一同を唖然とさせました。実際のパーツは至ってシンプルで、角材に穴が穿たれているだけで、しかしながら、それらを継ぎ手仕口のイメージをもつ様々なジョイントで用途やスペースに合わせて組み上げていくことで、前衛的ながらも不思議と伝統的な雰囲気を持つ家具が構成されていきます。しかも、実際にモックアップを作り上げており、さらに仕組みや組み立て方を分かりやすく解説するプレゼンテーションが非常に優れていることから、全会一致で最優秀賞に選出されました。

優秀賞

熊本デザイン専門学校
建築・インテリアデザイン
2年
船島 みずき

ぬくもりを結ぶ

講評

正方形の格子(等)に光源を入れて、透け感のある和柄の風呂敷で包むという発想は、かつて強い発熱を伴う光源しかなかった時代には、考えたとしても実現させることは困難でした。まさに進化する和風家具を見事に実現させており、優秀賞に相応しい、優れた作品です。

ぬくもりを結ぶ
～思いを結んで居ける、ひつだけの灯り～
色や、結ぶという動きには、そっと人と人をつないでくれる、やさしい思いやりや感謝の気持ちが込められています。

【コンセプト】
現代の有機EL技術の光を灯り、和風の風呂敷で包むという発想は、かつて強い発熱を伴う光源しかなかった時代には、考えたとしても実現させることは困難でした。まさに進化する和風家具を見事に実現させており、優秀賞に相応しい、優れた作品です。

【仕様】
高さ: 約130cm
幅: 約160cm
収納時(閉じた状態): 約10cm

【使用用途】
使用時: 扉状に展開し、有機ELスクリーンとして機能。
収納時: 閉じて紐状になり、壁に沿わせて立てかけられる。

【素材について】
①. フレキシブル有機ELパネル: 映像表示の主体。複数のユニットを屏子の骨に合わせて配置。
②. ベーススタンド: 安定して自立させるための台座。温かみや経年変化を感じさせる木製。
③. 扉骨(センサー内蔵): 開閉機構と、環境センサー(周囲の明るさ、温度など)を内蔵し、映像を自動で調整。

【演出案】
「書斎/集中空間」
映像を動かさない影絵やモダンな和柄だけを表示。視覚的なノイズを排除し、集中力を高める青みがかった昼光色500~800lxの照度。
「リビング/寝室」
色彩のグラデーションと、ゆったりとした花びらの動きや紅葉などの日本的な四季を感じる映像の投影。安らぎを与える電球色10~30lxの照度。

【コンセプト】
現代技術と経年美化の融合
現代の有機EL技術の光を灯り、和風の風呂敷で包むという発想は、かつて強い発熱を伴う光源しかなかった時代には、考えたとしても実現させることは困難でした。まさに進化する和風家具を見事に実現させており、優秀賞に相応しい、優れた作品です。

【演出案】
「書斎/集中空間」
映像を動かさない影絵やモダンな和柄だけを表示。視覚的なノイズを排除し、集中力を高める青みがかった昼光色500~800lxの照度。
「リビング/寝室」
色彩のグラデーションと、ゆったりとした花びらの動きや紅葉などの日本的な四季を感じる映像の投影。安らぎを与える電球色10~30lxの照度。

優秀賞

日本文理大学
建築学科
3年
谷口 美桜

廻扇

講評

扇状に展開する有機ELスクリーンという発想が、進化する和風家具を美しく表現しており素晴らしい。さらにスケール感・利便性・部材・演出案までを提案しており、長年の使用に伴う経年変化を劣化ではなく日本の伝統美として再解釈しようとする、まさしく文字通りの秀作です。

廻扇
回転する昼光灯の「廻」と、屏子の「扇」

【仕様】
高さ: 約130cm
幅: 約160cm
収納時(閉じた状態): 約10cm

【使用用途】
使用時: 扉状に展開し、有機ELスクリーンとして機能。
収納時: 閉じて紐状になり、壁に沿わせて立てかけられる。

【素材について】
①. フレキシブル有機ELパネル: 映像表示の主体。複数のユニットを屏子の骨に合わせて配置。
②. ベーススタンド: 安定して自立させるための台座。温かみや経年変化を感じさせる木製。
③. 扉骨(センサー内蔵): 開閉機構と、環境センサー(周囲の明るさ、温度など)を内蔵し、映像を自動で調整。

【演出案】
「書斎/集中空間」
映像を動かさない影絵やモダンな和柄だけを表示。視覚的なノイズを排除し、集中力を高める青みがかった昼光色500~800lxの照度。
「リビング/寝室」
色彩のグラデーションと、ゆったりとした花びらの動きや紅葉などの日本的な四季を感じる映像の投影。安らぎを与える電球色10~30lxの照度。

【コンセプト】
現代技術と経年美化の融合
現代の有機EL技術の光を灯り、和風の風呂敷で包むという発想は、かつて強い発熱を伴う光源しかなかった時代には、考えたとしても実現させることは困難でした。まさに進化する和風家具を見事に実現させており、優秀賞に相応しい、優れた作品です。

【演出案】
「書斎/集中空間」
映像を動かさない影絵やモダンな和柄だけを表示。視覚的なノイズを排除し、集中力を高める青みがかった昼光色500~800lxの照度。
「リビング/寝室」
色彩のグラデーションと、ゆったりとした花びらの動きや紅葉などの日本的な四季を感じる映像の投影。安らぎを与える電球色10~30lxの照度。

佳作

八代工業高校
インテリア科 3年
三笠 愛華

しなりんバンブー

講評

竹材のしなる性質を利用した椅子です。全高校生71作品の中で1位でした。立ち上がる所作が困難になった高齢者にとって、有り難い新機能をもつ和風家具です。

しなりんバンブー

【コンセプト】
竹材のしなる性質を利用した椅子です。全高校生71作品の中で1位でした。立ち上がる所作が困難になった高齢者にとって、有り難い新機能をもつ和風家具です。

【仕様】
高さ: 約100cm
幅: 約40cm
奥行: 約40cm

【使用用途】
使用時: 竹材のしなる性質を利用して、立ち上がる所作が容易になる。

佳作

熊本工業高校
インテリア科 2年
高見 佑希奈

MADOI Table

講評

「まどい」は、いわば和の核心です。よくそこに気づきました。しかし思想を形へと進化させていく段階で、分かりづらくなってしまいました。あと一息の作品です。

MADOI Table

【コンセプト】
「まどい」は、いわば和の核心です。よくそこに気づきました。しかし思想を形へと進化させていく段階で、分かりづらくなってしまいました。あと一息の作品です。

【仕様】
高さ: 約70cm
幅: 約100cm
奥行: 約40cm

【使用用途】
使用時: 和風の雰囲気を演出し、居心地の良い空間を演出する。

佳作

加治木工業高校
建築科 3年
藺田 史生

和室へんげ

講評

プレゼンテーションは稚拙ですが、コンセプトはたいへん優れています。ぜひ精進を続けてください。

和室へんげ ~時間×心情~

【コンセプト】
和室と和格天井と天井進行式リフトをガラス、陶器、木、女性一人でも気軽にレイアウトしながら、運動もできるような和風家具を提案します。

【仕様】
高さ: 約200cm
幅: 約100cm
奥行: 約100cm

【使用用途】
使用時: 和室の雰囲気を演出し、居心地の良い空間を演出する。

JIA賞

杉眠ドーム

大分県立芸術文化短期大学
専攻科造形専攻 1年
田原 ひなの

講評

JIA 公益社団法人日本建築家協会 九州支部 大分地域会のご協賛により設定された「JIA賞」受賞作品です。ややアジアンテイストが勝っていますが、日田杉の香りに包まれて嗅覚で感じる小空間に和風の未来を予感させられます。もし折り畳めたら、より高評価だったと思われます。

杉眠ドーム

【コンセプト】
和室の雰囲気を演出し、居心地の良い空間を演出する。

【仕様】
高さ: 約100cm
直径: 約100cm

【使用用途】
使用時: 和室の雰囲気を演出し、居心地の良い空間を演出する。

建築士会賞

移

熊本デザイン専門学校
建築・インテリアデザイン 2年
勇 姫菜

講評

公益社団法人大分県建築士会 大分支部のご協賛により設定された「建築士会賞」受賞作品です。ほかの作品がいわゆるオブジェクト型であるのに対し、この作品はシェルター系家具による「和風の影」をテーマにしている建築的提案といえます。プレゼンテーションも明快で美しい。

移

【コンセプト】
和室の雰囲気を演出し、居心地の良い空間を演出する。

【仕様】
高さ: 約100cm
幅: 約100cm

【使用用途】
使用時: 和室の雰囲気を演出し、居心地の良い空間を演出する。